

令和4年4月27日

「四国運輸局地域公共交通シンポジウム」を開催します！

新型コロナウイルス感染症の影響により、交通事業者の経営状況は非常に厳しい状況にありますが、四国エリアでは、国の補正予算による支援、各県や県下市町村による地方創生臨時交付金を活用した支援や地方公共団体独自の支援が講じられることで、当面の交通事業者の事業継続は維持されてきました。

しかし、この間にも人口減少や人手不足は深刻化し、感染症の影響が長引いたことも相まって、地域公共交通サービスの縮小に歯止めがかからず、公共交通の「負のスパイラル」に陥る可能性が否めない状況に陥っています。

このような状況下、公共交通ネットワークやサービスをどのように利便性と効率性のバランスを取りつつ持続させていくべきか、国、地方公共団体、交通事業者や交通に関わるあらゆる関係者が現状や交通資源を改めて見つめ直し、中長期的な目線での議論や対応が急務となっています。

この点、四国エリアにおいては、感染症の影響の中においても中長期的な目線で地域公共交通の活性化・再生に関する議論を止めずに検討を継続した地域において、持続可能な地域公共交通の実現に向けた具体的な取組に結びついています。

今回のシンポジウムでは、これらの取組を共有し、今後の公共交通の活性化・再生を目指していくに当たっての知見を共有する機会にできればと考えています。

記

1. 日時

令和4年5月27日（金） 14：00～16：45 （開場 13：30）

2. 開催場所

JR ホテルクレメント高松3階 飛天(東)

香川県高松市浜ノ町1-1、JR高松駅より徒歩1分

※ 入場無料。駐車場（有料）はありますが、できるだけ公共交通機関を利用してご来場下さい（アクセス）<https://www.jrclement.co.jp/takamatsu/access/>

3. シンポジウム参加対象者

交通事業者、地方公共団体職員、地域住民・学生、NPO法人、都市計画・まちづくりに関わるコンサルティング会社 など

（※特に制限はありませんので、様々な分野から多くの方の参加をお待ちしております）

4. シンポジウム参加募集定員

80名（事前申込み制、先着受付順、当日はマスクの着用をお願いします）

5. プログラム

コーディネーター：大阪大学大学院教授 土井 健司 氏

【事例紹介】

1. 徳島県における地域公共交通に関する取組

徳島県 県土整備部 交通交流統括監 佐藤 美奈子 氏

2. 徳島県南部における共同経営

徳島バス株式会社 企画管理部副部長 東 孝行 氏

四国旅客鉄道株式会社総合企画本部（モビリティ計画）担当課長 南 壮憲 氏

3. 高松市地域公共交通利便増進実施計画に基づく取組

高松市都市整備局都市計画課 主幹

兼 デジタル社会基盤整備室 室長

兼 デジタル戦略課 主幹 スマートシティ事業化推進 担当

兼 交通政策課 主幹 交通DX推進 担当 伊賀 大介 氏

4. つるぎ町コミュニティバスの取組

つるぎ町まちづくり戦略課 課長 武田 康弘 氏

6. 申込方法について

本シンポジウムへの参加を希望される方は、**①ご所属 ③お名前 ④連絡先（電話番号、E-mail）を明記**の上、電子メールでお申し込み下さい。

○申込先：国土交通省四国運輸局交通政策部交通企画課

メール： skt-koutuukikaku@mlit.go.jp

○申込期限 令和4年5月24日（火）

【お問い合わせ先】

四国運輸局交通政策部交通企画課

担当：手嶋、山下

電話：087-802-6725